

1 小平市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進捗状況一覧表

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
基本目標1「住み続けたいまちの空間をつくる」					
① 農のあるまちづくりの推進					
1	市内農家の収入増に向けた取組の支援	営農意欲ある経営体として認定農業者を拡充し、国や東京都の補助も活用しながら、農業経営基盤の強化を図り、農業収入の増大に向けた支援をしていきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者の更新や新規認定の呼びかけを行い、15経営体が認定を受けました。 経営基盤強化の補助を行う、地域農業担い手支援事業を実施し、29経営体が事業を活用して農業経営の促進を図りました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者の更新や新規認定の呼びかけを行い、認定新規就農者1人を含む16経営体が認定を受けました。 経営基盤強化の補助を行う、地域農業担い手支援事業を実施し、31経営体が事業を活用して農業経営の促進を図りました。
2	農にふれあえる場の提供	市民が農にふれあえる場として、体験農園や収穫体験のできる農園の拡充に取り組むとともに、直売所や特産品などの情報の発信を行っています。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験農園や収穫体験のできる農園、直売所や特産品などを市報やマップで情報発信を行いました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験農園や収穫体験のできる農園、直売所や特産品などを市報やこだいら観光まちづくり協会作成の「こだいら直売所マップ」で情報発信を行いました。
3	地産地消の促進	平成28年秋にオープンする東京むさし農業協同組合の直売所のリニューアルの支援を行い、ジャムやワインなど農産加工品や飲食店、学校給食等への地場産農産物の利用の促進など地産地消の拡大を図ります。	産業振興課 (学務課)	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食等への地場産農産物の利用の促進に対し、補助金を交付しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食等への地場産農産物の利用の促進に対し、補助金を交付しました。
4	市民による農家支援	後継者不足や高齢化に伴う人手不足を解消するため、農業に関心を持つ市民が農家の担い手となった援農ボランティア等の市民活動の支援をします。 また、環境学習としてのエコツアー等の実施により、援農ボランティアでは対応しきれない農作業を行うことにより農家を支援していきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市報で援農ボランティアの募集を行い、講座、実技を修了し、援農ボランティアとして11人が認定されました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市報で援農ボランティアの募集を行い、講座、実技を修了し、援農ボランティアとして18人が認定されました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
② ゆったりとした快適なまちづくりの推進					
1	用水路の親水整備	「水が見えて、水に近づき、水で楽しむ」ことができる用水路の整備を行い、人に「やすらぎ」や「うるおい」を与える空間をつくります。	水と緑と公園課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新堀用水のり面(胎内堀)保全工事を実施しました(胎内堀坑口周辺約40m)。なお、用水路に生息する小生物等の生態系に配慮し、止水を伴わない施工方法を検討したうえで、工事を実施しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に引き続き、用水路に生息する小生物の生態系に配慮しながら、新堀用水のり面(胎内堀)保全工事を実施しました。工事では、のり面の補強を行ったほか、胎内堀坑口付近に近づくための階段を設置しました。
2	小平グリーンロードを活用したイベントの実施	小平グリーンロードを活用したイベント(花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭)を実施します。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭を実施しました。来場者はそれぞれ2,100人、59,600人、3,000人でした。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花まつり、小平グリーンロード灯りまつり、晩秋の小平グリーンロードウォークと収穫祭を実施しました。来場者はそれぞれ2,500人、58,100人、500人でした。
3	食を通じたイベントの実施	ブルーベリーなどの食を通じたイベントの支援や、グルメ店のPRを通じて、食のブランド化に取り組めます。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食を通じたイベント5件に対し支援しました。 ・イベントの延べ来場者数は15,038人でした。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食を通じたイベント5件に対し支援しました。 ・イベントの延べ来場者数は14,500人でした。
4	こだいらオープンガーデンの支援	個人の庭を一般に公開し、訪れた人が季節の植物を楽しみ、交流を深め、自然とうるおいのあるまちになることを目指すオープンガーデンについて、その発展に向けて働きかけを行うとともに、周知をしていきます。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいオープンガーデンマップを作成しました。 ・オープンガーデンマップの配布に加え、市、小平市グリーンロード推進協議会及びこだいら観光まちづくり協会のホームページにて、周知を行いました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンガーデンマップの多言語版(英・中(簡体)・韓)を作成しました。 ・オープンガーデンマップの配布に加え、市及びこだいら観光まちづくり協会のホームページにて、周知を行いました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
③ “住んでみたい”まちづくりと魅力の情報発信					
1	小川駅西口、小平駅北口再開発事業の推進	現在、権利者を中心に検討が進められている小川駅西口地区再開発事業、小平駅北口地区再開発事業を、関係者との合意形成を経て着実に進め、駅周辺の賑わいの創出と魅力の向上を図ります。	地域整備支援課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <p>《小川駅西口地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> 再開発準備組合に対し活動費の補助や、事業計画案の検討、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた取組み等に対する助言や協力などの支援を行ったほか、平成29年度に引き続き都市計画決定に向けた取組みを進め、8月に都市計画決定をしました。また、小川駅東西自由通路整備について関係機関との調整等を継続して行いました。 <p>《小平駅北口地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> 再開発準備組合に対し活動費の補助のほか、事業計画案の検討、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた支援を行いました。 <p>【令和元年度】</p> <p>《小川駅西口地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> 再開発準備組合に対し活動費の補助や、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた支援を行いました。12月には、準備組合が組合設立認可に必要な同意を得て、東京都知事に対して組合設立の認可申請が行われ、市では12月下旬から1月中旬にかけて事業計画の縦覧を行いました。 また、既存の小川駅東西自由通路を活用して駅と再開発ビルを接続するペDESTリアンデッキの整備について、鉄道事業者等との協議を継続して行いました。 <p>《小平駅北口地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> 再開発準備組合に対し活動費の補助のほか、事業計画案の検討、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた支援を行いました。
2	住みたくなるまちの魅力を発信	設立を目指している「(仮称)小平観光まちづくり連絡会」の支援などを通じて、観光まちづくりに関する情報など、住みたくなるまちの魅力を発信していきます。 また、市民の誰もが参加でき意見交換できる「プチ田舎会議」を開催し、市民の観光まちづくりへの関心を高めると同時に、観光まちづくりを支えるボランティア「観光まちづくりサポーター」を設置し、観光まちづくりに参加する市民の広がりを促進します。 なお、平成27年度につきましては、人口の転出入の割合が高い西武鉄道の車両におけるラッピングトレインを走らせる取組などを通じ、小平市のPRを行います。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> こだいら観光まちづくり協会において、観光総合ガイドブックのvol.3を作成しました。 プチ田舎会議を2回開催し、文化学園大学、小平市観光農業協会、こだいら観光まちづくり協会が協力して、小平市の野菜と果物を販売するクリスマスマルシェを企画しました。 観光まちづくりサポーターについては、現在2人の登録があります。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> こだいら観光まちづくり協会において、観光総合ガイドブック多言語版(日・英・中・韓)を作成しました。 プチ田舎会議を2回開催し、文化学園大学、こだいら観光まちづくり協会が協力して、小平市の野菜と果物を販売するクリスマスマルシェを企画しました。 観光まちづくりサポーターについては、現在2人の登録があります。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
3	文化施策の推進と文化財等のPR	<p>小平市民文化会館、平櫛田中彫刻美術館、小平ふるさと村などの運営を通じて市の文化振興に努めます。また、鈴木遺跡の国指定史跡化を推進するなど、地域の文化財や歴史に対する関心を深めることを目指します。</p> <p>また、平成27年度につきましては、鈴木遺跡の文化財等について広く知っていただくため、市ホームページの充実、文化財マップの作成、最寄駅から鈴木遺跡の文化財等への文化財案内看板等のサインの見直しを行います。</p>	文化スポーツ課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平櫛田中彫刻美術館では、全国から作品を集めた特別展の開催、武蔵野美術大学・小平市文化振興財団との連携による木彫ワークショップ及び彫刻展覧会を開催しました。ホームページのリニューアルによって美術館情報の多言語対応を行いました。 市民文化会館では、鑑賞系事業36公演、啓発系事業10公演、育成系事業4事業、支援系事業4公演などを実施しました。ふるさと村では、郷土の歴史的な文化継承事業33事業、地域の振興に関する事業11事業を実施しました。 前年度に引き続き、鈴木遺跡国指定史跡化推進事業の一環として、文化財特別展「鈴木遺跡と江戸東京」、文化財ギャラリートーク、「こだいらの遺跡をあるく」等のイベントを開催したほか、平成29年度に市史跡に指定した「熊野宮のケヤキ」、「鈴木稲荷神社のケヤキ」の案内標柱を設置しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平櫛田中彫刻美術館では、年間4回の企画展覧会の開催、武蔵野美術大学・小平市文化振興財団との連携による木彫ワークショップ及び彫刻展覧会を開催しました。多言語対応事業として、音声ガイドの多言語リニューアル、美術館施設看板の新設、美術館PR動画の作成を行いました。 市民文化会館では、鑑賞系事業29公演、啓発系事業11公演、育成系事業2事業、支援系事業4公演などを実施しました。ふるさと村では、郷土の歴史的な文化継承事業30事業、地域の振興に関する事業9事業を実施しました。 鈴木遺跡国指定史跡化推進事業の一環として、これまで行われてきた鈴木遺跡の発掘調査成果をまとめた『鈴木遺跡発掘調査総括報告書』を刊行しました。また前年度に引き続き、文化財特別展「鈴木遺跡の文化層と黒曜石」、「こだいらの遺跡をあるく」、「文化財講座 ナイフ形石器を作ろう!」、「文化財講演会 古代の交通と(推定)東山道武蔵路」等のイベントを開催しました。
4	いつまでも住み続けられる健康まちづくりの推進	いつまでも健康で住み続けられるまちを目指して、“歩くまち小平”としてのモデルコースの設定など、楽しみながら健康づくりができる取組を推進します。	産業振興課 文化スポーツ課 健康推進課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> こだいら観光まちづくり協会にて、観光総合ガイドブックや観光ポータルサイトで引き続きモデルコースを掲載しました。また、まち歩きガイド養成講座を実施し、7人のまち歩きガイドが新たに認定されました。地図をもとに市内の丸ポストを巡る「丸ポストロゲイニング」や、一般市民参加型の「まち歩き」も29回実施しました。 平成29年度に作成した小平市ウォーキングマップの活用事業として、歩数計を貸し出し日々の健康づくりに取り組む「こだいら健康ポイント事業」を実施し、市民213人が参加しました。ウォーキングコースの周辺に健康ポイントの拠点を設け、ウォーキングマップの活用を図りました。 各種ウォーキング事業や、ノルディック・ウォーキング体験教室など、楽しみながら市内を歩く事業を実施しました。また健康づくりの契機とするため、これらの事業について「こだいら健康ポイント事業」の対象事業としました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> こだいら観光まちづくり協会にて、観光総合ガイドブックや観光ポータルサイトで引き続きモデルコースを掲載しました。また、まち歩きガイド養成講座を実施し、4人のまち歩きガイドが新たに認定されました。一般市民参加型の「まち歩き」を26回実施しました。(「丸ポストロゲイニング」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。) 小平市ウォーキングマップを5,000部増刷し、公共施設等で配布し、周知・啓発を行いました。 小平市ウォーキングマップの活用事業として、歩数計を貸し出し日々の健康づくりに取り組む「こだいら健康ポイント事業」を実施し、市民337人が参加しました。ウォーキングコースの周辺に健康ポイントの拠点を設け、ウォーキングマップの活用を図りました。その他、このマップを活用したウォーキング教室を開催しました(7月、10月、12月)。 各種ウォーキング事業や、ノルディック・ウォーキング体験教室など、楽しみながら市内を歩く事業を実施しました。また健康づくりの契機とするため、これらの事業について「こだいら健康ポイント事業」の対象事業としました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
5	若い世代の定住の促進	若い世代の人々が住みたくなるような、住環境の整備に取り組みます。	都市計画課 (地域整備支援課) (水と緑と公園課)	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉公園整備の今後の取組について検討を行いました。 魅力あるまちづくりに向けて、小川駅西口地区では、都市計画決定に向けた取組を進め、8月に都市計画決定をしました。都市計画決定後は、組合設立認可に向け、準備組合と連携して事業計画案を検討しました。また、小平駅北口地区でも、準備組合主催の会議や事業に関する勉強会に参加するなど、権利者の意見を伺いながら準備組合と連携して事業計画案を検討しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備を予定している鎌倉公園について、ワークショップ等の実施により、市民の意見を聴きながら今後の整備方針について検討を行いました。 魅力あるまちづくりに向けて、小川駅西口地区では、第一種市街地再開発事業等の組合設立認可に向け、準備組合と連携して事業計画案に対する権利者の合意形成を図り、12月に東京都知事へ組合設立認可の申請を行いました。また、小平駅北口地区についても市街地再開発事業の推進に向けて、準備組合主催の会議や視察会に参加するなど、権利者の意見を伺いながら準備組合と連携して事業計画案を検討しました。
6	ジュニア世代のスポーツ競技力の向上	子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るとともに、指導者の育成を図るため、小中学生を対象に各種スポーツ教室を開催し、スポーツ振興を推進します。	スポーツ振興担当	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るため、小・中学生を対象として、「トップアスリートによるランニング教室」(講師:東京経済大学陸上部コーチ)を開催しました。 小平市内の中学校のサッカー部で活動している生徒を対象として、サッカーJ1に所属しているFC東京のコーチを講師に、市内のFC東京大沼グラウンドにて、競技力向上を目的とした講習会を開催しました。 小平市内で活動している少年野球チームに所属する小学3～6年生及び指導者を対象として、講師に元プロ野球選手を招き、野球教室を開催しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上及びスポーツ競技力向上を図るため、小・中学生を対象として、「トップアスリートによるランニング教室」(講師:東京経済大学陸上部コーチ)を開催しました。 継続的な子どもの体力・運動能力向上を目的として、市内在住・在学の児童を対象に運動の基本的な動作について学ぶことのできるスポーツ教室を開催しました。また、スポーツを見る楽しさを学ぶため、車いすバスケットボール日本代表の試合を観戦するスポーツ観戦事業を実施しました。 小平市内で活動している少年野球チームに所属する小学4、5年生及び指導者を対象として、講師に元プロ野球選手を招き、野球教室を開催しました。
7	通学における児童・生徒の安全確保	子どもたちが安全で安心して学校に通えるよう、通学路の安全点検を行い、危険個所の把握に努めています。また、人の目が行き届きにくい場所や時間帯において見守り活動を補完するため、市内小学校の通学路に防犯カメラを設置します。	学務課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校5校(小平第三小学校、小平第九小学校、小平第十四小学校、小平第十五小学校、鈴木小学校)の通学路に計21台の防犯カメラを設置しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校の通学路で見守りが必要な箇所に計16台の防犯カメラを設置しました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
基本目標2「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」					
① 結婚の希望をかなえる					
1	出会いの創出による交流をつくる	結婚をしない理由の1つとして、「出会い」の機会が少ないという傾向が見受けられ、また、理想の子どもの数をもてない理由としては「年齢や健康上の理由」が要因の1つとなっているものと推察されます。市内の企業などに働きかけを行い、若い世代の方に出会いの場の創出へ参加していただき、市内における交流人口の増加や定住のきっかけづくりを行います。	政策課	実施済	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の補助により、こだいら観光まちづくり協会が出会いの創出事業として、市内商店街において「こだいらの魅力を発見する相席ツアー」を開催し、44人の参加がありました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の補助により、こだいら観光まちづくり協会が出会いの創出事業として、複数の市内観光コースをグループで散策する「ハシカケ 恋活応援ツアー」を開催し、34人の参加がありました。
② 妊娠・出産期からの支援体制の充実					
1	子育てに関する総合的な支援体制の整備	妊娠期から子育て期までの様々なニーズを把握し、総合的に情報提供や相談を行うことができる機能（仮称）子育て世代包括支援センターを整備し、よりきめ細やかな支援を行うことで、子育てに対する不安の軽減を図ります。	健康推進課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆりかご・こだいら事業を継続することで、妊娠期からの切れ目ない支援を行い、妊娠届出を提出した全妊婦に対するマタニティーサポート面談や、子育てに不安になっている方に対して産前産後サポート事業を実施することで、子育てに対する不安軽減を図りました。また、関係機関との連絡会として、主任児童委員との連絡会等を実施しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠期からの切れ目ない支援を行い、妊娠届出を提出した全妊婦に対するマタニティーサポート面談や、子育てに不安になっている方に対して産前産後サポート事業を実施することで、子育てに対する不安軽減を図りました。また、子育ての情報が得られるよう健康センター内に情報コーナーを設置しました。関係機関との連絡会として、庁内外の子育て関連の実務者連絡会を2回実施しました。令和2年度に子育て世代包括支援センターを設置できるよう準備を整えました。
2	妊婦健康診査の充実	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、すべての妊婦が健康診査を受診できるように支援を行い、安心して妊娠・出産できる環境を整えるとともに、妊娠期からの一貫した健康管理を推進します。	健康推進課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出を提出した全妊婦を対象に保健師、助産師が面談を行い、妊婦健康診査の受診の必要性について伝えることで、健康管理に関する意識を高めることを推進しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠届出を提出した全妊婦を対象に保健師、助産師が面談を行い、妊婦健康診査の受診の必要性について伝えることで、健康管理に関する意識を高めることを推進しました。
3	ハローベビークラス事業の充実	妊娠5～8か月の妊婦及びその家族を対象として、妊娠・出産・育児に関する知識・技術の習得を行います。	健康推進課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日クラスを16回、土曜日クラスを12回、開催しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日クラスを13回、土曜日クラスを10回、開催しました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
4	乳児家庭全戸訪問の充実	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供などを行うとともに、親子の心身の状況や養育環境などの把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供につなげます。	健康推進課	実施中	【平成30年度】 ・1,665件(97.9%)の訪問を実施しました。 【令和元年度】 ・1,606件(98.7%)の訪問を実施しました。
5	養育支援訪問の充実	乳児家庭全戸訪問などにより把握した養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言などを行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保します。	家庭支援担当 健康推進課	実施中	【平成30年度】 ・153件の訪問を実施しました。 【令和元年度】 ・195件の訪問を実施しました。
③ 子育て支援サービス・保育環境の充実					
1	保育環境の充実	待機児童対策として、計画的に私立認可保育園等の誘致・整備を行い、定員拡大に取り組むとともに、認証保育所、家庭的保育事業など、多様な手法により、保育環境の充実を図ります。	保育課	実施中	【平成30年度】 ・小規模保育事業1事業所を開設するなど、定員を66人拡大しました。 【令和元年度】 ・認可保育園1園を開設するなど、定員を134人拡大しました。
2	子育てふれあい広場事業の充実	地域における子育て支援の拠点として、地域センターなどの身近な場所で、子育てについての不安や悩みの相談、同じ不安等を持つ保護者の交流を通して、乳幼児の健全な育成を図ります。 また、平成27年度につきましては、公立保育園における玩具、書籍等の購入、新築した小川西保育園の地域交流室における備品の購入などを行い、地域における子育て支援の拠点としての環境の充実を図ります。	子育て支援課 (保育課)	実施中	【平成30年度】 ・子育てふれあい広場利用者数(保育園含む)は、以下のとおりでした。 利用者数 11,133人 相談件数 1,621件 【令和元年度】 ・子育てふれあい広場利用者数(保育園含む)は、以下のとおりでした。 利用者数 8,930人 相談件数 1,147件
3	一時預かり事業の充実	幼稚園における在園児の預かり保育や、緊急・一時的に保育が必要な子どもの保育園での預かり保育などを行います。	保育課	実施中	【平成30年度】 ・認定こども園及び幼稚園の全15園で一時預かり保育を実施するとともに、保育園での一時預かりを10園で実施しました。 ・市立保育園全9園において緊急一時保育を実施しました。 【令和元年度】 ・認定こども園及び幼稚園の全15園で一時預かり保育を実施するとともに、保育園での一時預かりを10園で実施しました。 ・市立保育園全9園において緊急一時保育を実施しました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
4	学童クラブ事業の充実	就労などの理由により、保護者が昼間いない小学生に対し、放課後に適切な遊び及び生活の場を与え、児童の健全な育成を図ります。	子育て支援課	実施中	【平成30年度】 ・上宿小学童クラブ第二(定員60人)及び4クラスを新規開設しました。 ・令和元年度新設の3クラブ及び1クラスの開設準備を行いました。 【令和元年度】 ・五小学童クラブ第二(定員40人)、第三(定員40人)、花小金井小学童クラブ第二(定員40人)及び1クラスを新規開設しました。 ・令和2年度新設の1クラスの開設準備を行いました。
5	児童館運営事業の充実	健全な遊びを通じて、児童の健やかな成長及び豊かな情操を養い、児童の健全な育成を図ります。 また、平成27年度につきましては、花小金井南児童館及び小川町二丁目児童館に、児童に人気の高いクライミング・ウォールを設置し、子どもが安心して楽しく遊べる場の充実を図ります。	子育て支援課	実施中	【平成30年度】 ・児童館利用者 130,870人 【令和元年度】 ・児童館利用者 115,953人
④ 子育てにおける多様な支援の充実					
1	子育てに関する情報発信の推進	現在、市が発行している「子育てガイド」に加え、市民活動団体などが発信している子育てに関する情報について、インターネットを介して一元化して情報を提供する仕組みを構築します。	政策課 (子育て支援課) (家庭支援担当) (保育課) (健康推進課)	実施中	【平成30年度】 ・「子育てガイド」を発行しました。 ・子育て応援サイト「こだち」の管理運営団体へ補助金を交付しました。サイトへのアクセス件数は、118,089件でした。 【令和元年度】 ・「子育てガイド」を発行しました。 ・子育て応援サイト「こだち」の管理運営団体へ補助金を交付しました。サイトへのアクセス件数は、113,821件でした。
2	地域における子育て活動への支援	市内のNPOやボランティア団体などが行う、子育てに関する優れた取組を支援します。	市民協働・男女参画推進課 (各課)	実施中	【平成30年度】 ・市民活動支援公募事業(学生団体コース)として、地域で子育て支援に取り組む学生団体3団体に補助金を交付し、事業を実施しました。 ・いきいき協働提案事業にて、障がい者支援課と協働で「ペアレントプログラム及びペアレントメンター実施事業」を実施しました。 【令和元年度】 ・提示型公募事業(学生部門)として、地域で子育て支援に取り組む学生団体3団体に補助金を交付し、事業を実施しました。
3	ファミリー・サポート・センター事業の推進	市内居住の、生後57日から小学6年生までの子どもの保護者で育児の援助を受けたい人(利用会員)と、育児の援助を行いたい人(提供会員)を結び、地域の子育てを支援します。	家庭支援担当	実施中	【平成30年度】 ・延べ利用件数 5,999件 【令和元年度】 ・延べ利用件数 6,331件

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
基本目標3 「地域力・民活力の高いまちをつくる」					
① 市内における“しごと”をつくる					
1	創業に対する支援	小平市は、産業競争力強化法に基づく「創業支援計画」を策定し、平成26年10月に国の認定を受けました。金融機関のノウハウも活用し、個別相談、創業セミナー、創業塾の開催など女性のニーズも高まっている創業のための支援を拡充します。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業資金融資あっせん制度を実施しました。7人が利用しました。 ・チャレンジジョブ事業を実施しました。4人が利用しました。 ・創業個別相談窓口を開催しました。23人が参加しました。 ・創業セミナーを開催しました。計2回開催し、13人が参加しました。 ・創業塾を開催しました。年2回開催し、23人が参加しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業資金融資あっせん制度を実施しました。9人が利用しました。 ・チャレンジジョブ事業を実施しました。6人が利用しました。 ・創業個別相談窓口を開催しました。16人が参加しました。 ・創業セミナーを開催しました。計2回開催し、12人が参加しました。 ・創業塾を開催しました。年2回開催し、25人が参加しました。
2	商店会の賑わいや中小企業等が取り組む商品開発等に対する支援	商店会に新規出店する際の支援や、意欲ある中小企業等が取り組む商品開発の支援を拡充することで、商店会の賑わいや中小企業の振興を図ります。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業・事業資金融資あっせん制度、店舗改修等補助事業及びチャレンジ企業応援事業により支援を実施しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業・事業資金融資あっせん制度、店舗改修等補助事業及びものづくり等生産性向上支援事業により支援を実施しました。
3	コミュニティビジネスの支援	高齢化の進展などに伴う地域の課題の解決のため、今後もコミュニティビジネス(CB)の重要性が高まることが予想されます。①-1の創業に対する支援に加え、小さくても地域に合った自立的な取組をする事業の積み上げを図ります。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいだいらコワーキングスペース「すだち」にて、コミュニティビジネスを含めた起業についての講座を開催しました。計8回開催し、延べ36人が参加しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいだいらコワーキングスペース「すだち」にて、コミュニティビジネスを含めた起業についての講座を開催しました。計6回開催し、延べ25人が参加しました。
4	子育て中の女性の就労促進	地域社会における女性の活躍に向けた取組として、子育て中の女性の就労を支援します。在宅ワークの支援を通じて地域における“しごと”をつくるとともに、地域における推進役としての人材の育成も目指します。	産業振興課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいだいらコワーキングスペース「すだち」にて、ビジネススキル研修、就労プロデューサー育成研修を開催しました。計15回開催し、延べ67人が参加しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいだいらコワーキングスペース「すだち」にて、テレワーク説明会・交流会を開催しました。計9回開催し、延べ41人が参加しました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
5	市の産業振興の基礎となる基本計画の策定	市内の農業、商業、工業、観光の連携強化を図るため「(仮称)産業振興基本計画」を策定します。なお、策定に当たっては金融機関や大学などとの連携を目指します。	産業振興課	実施済	・平成29年度に、多摩信用金庫、首都大学東京及び小平市が連携して、「産業振興基本計画」及び「農業振興計画」を策定しました。
6	ワーク・ライフ・バランスの啓発	仕事と生活の調和を目指し、子育てをしながら働く人を理解し、誰もが働きやすく、支え合える職場環境の形成が促進されるよう啓発に努めます。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画啓発の広報誌「ひらく」第43号、44号を発行(各7,000部)しました。 ・女と男のフォーラムを開催し、148人(保育11人)が参加しました。 ・男女共同参画週間講演会を男女共同参画センター利用登録団体と共催で開催し、76人(保育15人)が参加しました。 ・マザーズハローワーク立川と共催で女性の就労支援講座を開催し、18人(保育13人)が参加しました。 ・市内事業者の現状把握と女性活躍推進のため、市内事業者懇談会を開催し、8社が参加しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画啓発の広報誌「ひらく」第45号、46号を発行(各7,000部)しました。 ・女と男のフォーラムを開催し、140人(保育7人)が参加しました。 ・男女共同参画週間講演会を男女共同参画センター利用登録団体と共催で開催し、143人(保育4人)が参加しました。 ・マザーズハローワーク立川と共催で女性の就労支援講座を開催し、19人(保育12人)が参加しました。 <p>(・市内事業者の現状把握と女性活躍推進のため、市内事業者懇談会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。)</p>
② 大学との連携を推進する					
1	大学等との連携の推進	市内には大学が多く存在することから、これまでも大学連携事業～こいだいらブルーベリーリーグ～などを通じて様々な連携を行ってきましたが、今後も、「(仮称)産業振興基本計画」の策定、文化プログラムの実施、地域づくりの推進など、より一層連携した取組を進めていきます。	市民協働・男女参画推進課 (産業振興課) (文化スポーツ課)	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいだいらブルーベリーリーグにおいて連絡調整会を3回開催し、大学との連携のあり方について協議を行ったほか、大学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」を開催しました。 ・各大学の特色を生かした分野で連携を強化していけるよう武蔵野美術大学、津田塾大学、白梅学園大学と包括連携協定を締結しました。 ・嘉悦大学や金融機関等の創業支援等事業者とともに、創業支援等事業計画の見直しを行い、国から変更の承認を受けました。 ・平櫛田中彫刻美術館、武蔵野美術大学、小平市文化振興財団の三者が連携して、若手作家の彫刻展覧会及び木彫ワークショップを開催しました。(文化プログラム参加事業) <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こいだいらブルーベリーリーグにおいて連絡調整会を3回開催し、大学との連携のあり方について協議を行ったほか、大学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」を開催しました。 ・各大学の特色を生かした分野で連携を強化していけるよう嘉悦大学と新たに包括連携協定を締結しました。 ・平櫛田中彫刻美術館、武蔵野美術大学、小平市文化振興財団の三者が連携して、若手作家の彫刻展覧会及び木彫ワークショップを引き続き開催しました。(文化プログラム参加事業) ・一般社団法人こいだいら観光まちづくり協会が、白梅学園大学の学生を各イベントでボランティアとして受け入れました。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
③ 地域における“担い手”をつくる					
1	小平市市民活動支援公募事業	市民活動団体、NPO、自治会等が自ら企画実施する公益的な事業を公募し、その事業経費の一部を市が補助することで、市と市民の協働の基盤づくりを推進します。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援公募事業(学生団体コース)として、学生が地域に積極的に地域に飛び出し、そこで教育資源を見出すような取組を実践している学生団体3団体に補助金を交付し、事業を実施しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小平市協働の推進に関する指針に基づき、これまでの立ち上げ期における団体支援的な取組から、市が提示した事業テーマ及び地域課題の解決を図る市民活動団体等の事業を助成する取組「小平市提示型公募事業」としてリニューアルを行いました。市の課題解決に取り組む6事業について助成を行いました。
2	小平市いきいき協働事業	市民活動団体やNPO等からの協働による事業の提案を募集し、市民の視点から新しい事業の展開など地域の課題の解決などを推進します。	市民協働・男女参画推進課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ペアレントプログラム及びペアレントメンター事業」(障がい者支援課)、「小平らしい生き物の調査事業」(環境政策課・水と緑と公園課)をそれぞれ協働で実施しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小平市協働の推進に関する指針に基づき、地域課題等の解決のための実践的な協働を推進するため、市が提示した課題及び事業について、市民活動団体等から提案を受け、協働で地域課題等の解決を図る行政提案型の協働事業として募集を行い、3事業を採択しました。
3	災害時に強い市民の育成	自助・共助の能力を高めるため、自主防災組織の増加を目指します。 また、災害時に迅速かつ円滑な対応が行えるよう、避難所(小・中学校等)ごとに、避難所管理運営マニュアルを作成できるよう支援します。	防災危機管理課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織・・・新たに4組織が結成され、合計70組織になりました。 避難所管理運営マニュアル・・・新たに2地区作成され、合計8地区になりました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織・・・新たに結成された組織は無く、合計70組織です。 避難所管理運営マニュアル・・・新たに4地区作成され、合計12地区になりました。
4	公園等管理におけるアダプト制度の導入	公園等の清掃、ベンチや遊具の塗装、低木の剪定、花壇設計など、市民が自主管理に取り組むアダプト制度を導入します。	水と緑と公園課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山王北公園、かしの実公園及び中央公園でアダプト制度を導入しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公園樹林及びあかしあ公園でアダプト制度を導入しました。
5	介護予防見守りボランティアコーディネーターの配置	高齢化に伴って一人暮らしの高齢者などが増加することが予想されることから、各地域包括支援センターに介護予防見守りボランティアコーディネーターを配置し、地域住民による見守り体制を構築します。	地域包括ケア推進担当	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4つの各地域包括支援センターへのコーディネーター配置(4人)を継続しました。登録研修2回実施。年度末登録者数374人。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4つの各地域包括支援センターへのコーディネーター配置(4人)を継続しました。登録研修2回実施。年度末登録者数400人。

施策番号	名称	内容	所管課 (関連課)	進捗状況	令和元年度までの実施等状況
6	スポーツボランティアの育成	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて、スポーツ振興の担い手となるスポーツボランティアの育成を図ります。	スポーツ振興担当	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後のスポーツ振興を見据え、障がい者スポーツを含めたスポーツを支える人材を発掘・育成するために、引き続き、日本スポーツボランティアネットワークと連携した研修会を開催するとともに、障がい者運動会をはじめとしたイベントにスポーツボランティアを派遣するなど、活躍の場の拡大を行いました。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の都市ボランティアには、市の推薦枠として、51人を推薦しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後のスポーツ振興を見据え、障がい者スポーツを含めたスポーツを支える人材を発掘・育成するために、引き続き、日本スポーツボランティアネットワークと連携した研修会を開催するとともに、障がい者運動会をはじめとしたイベントにスポーツボランティアを派遣するなど、活躍の場の拡大を行いました。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の都市ボランティアとして、小平市から推薦を受けたスポーツボランティア13人が活動しました。
7	地域による教育支援の推進	学校の運営や教育活動を支援する学校支援ボランティア等の養成を行います。また、地域の力により様々な体験活動や世代間交流の機会を提供する放課後子ども教室の推進、地域の特徴を生かして青少年のための活動を行う青少年対策地区委員会の活動への支援を図ります。	地域学習支援課	実施中	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア及びコーディネーターの養成講座・研修を計117回実施し、延べ2,378人が参加しました。 ・放課後子ども教室を小学校19校にて実施し、放課後学習教室を中学校8校にて実施しました。 ・青少年対策地区委員会代表者協議会を計3回、研修を1回実施するとともに補助金を交付しました。 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア及びコーディネーターの養成講座・研修を計96回実施し、延べ1,599人が参加しました。 ・放課後子ども教室を小学校19校にて実施し、放課後学習教室を中学校8校にて実施しました。 ・青少年対策地区委員会代表者協議会を計2回、研修を1回実施するとともに補助金を交付しました。